

2014 旭川トレセンU-12 活動計画

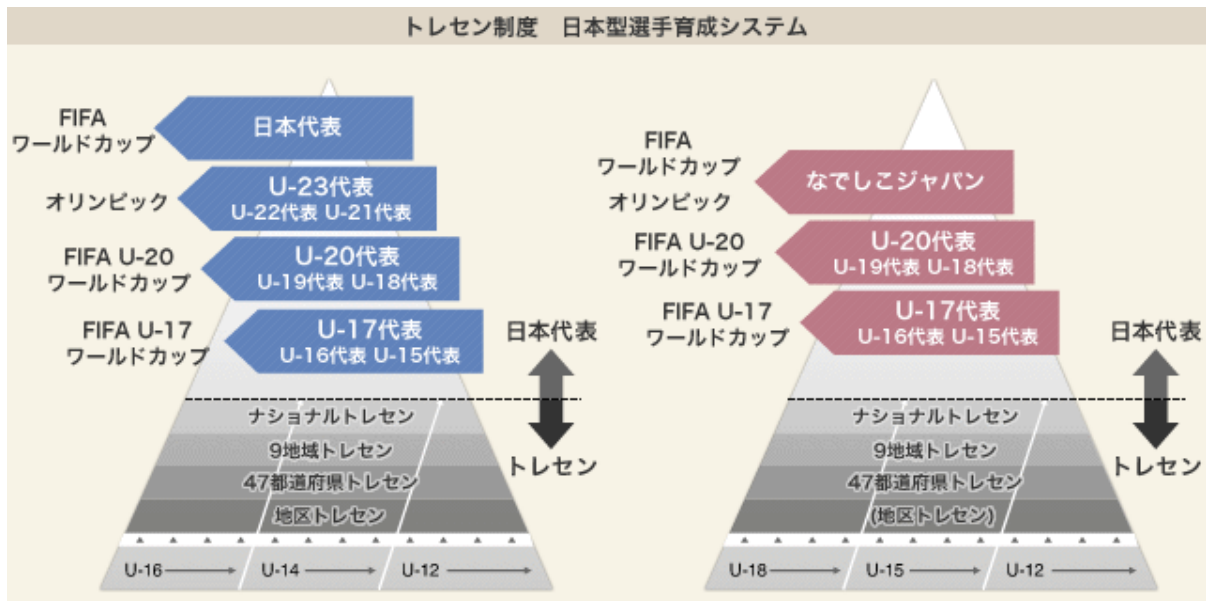


2014年4月2日(火)
上川教育研修センター

【トレーニングセンター制度とは？】

日本のユース育成の中心的役割を果たしているのが「トレセン制度：ナショナルトレーニングセンター制度」です。

「日本サッカーの強化、発展のため、将来日本代表選手となる優秀な素材を発掘し、良い環境、良い指導を与えること」を目的に始まったこの制度は、男子ではすでに25年を経て（女子は2005年度より本格的整備が開始）、さまざまな変革を行いながら、組織的にも活動内容においても充実したものとなり、トレセンを経験した選手から各年代の日本代表選手の多くが選出されるようになりました。



トレセンでは、チーム強化ではなく、あくまでも「個」を高めることが目標です。世界で闘うためには、やはり「個」をもっともっと高めていかなくてはなりません。レベルの高い「個」が自分のチームで楽にプレーができてしまって、ぬるま湯のような環境の中で刺激なく悪い習慣をつけてしまうことを避けるために、レベルの高い「個」同士を集めて、良い環境、良い指導を与えること、レベルの高い者同士が互いに刺激となる状況をつくるのがトレセンの目的です。テクニックやフィジカルの面から、その「個」のレベルに合ったトレーニング環境を提供することは、育成年代において非常に重要な考え方です

（公益財団法人日本サッカー協会ホームページより）

「大事なのは今日の結果ではなく、明日子どもがどんなプレーをするかを楽しみにすること」

「勝つことと育てることは、矛盾すると同時に矛盾しない、その矛盾の間でコーチは生活している」

前々日本代表監督 イビチャ・オシム



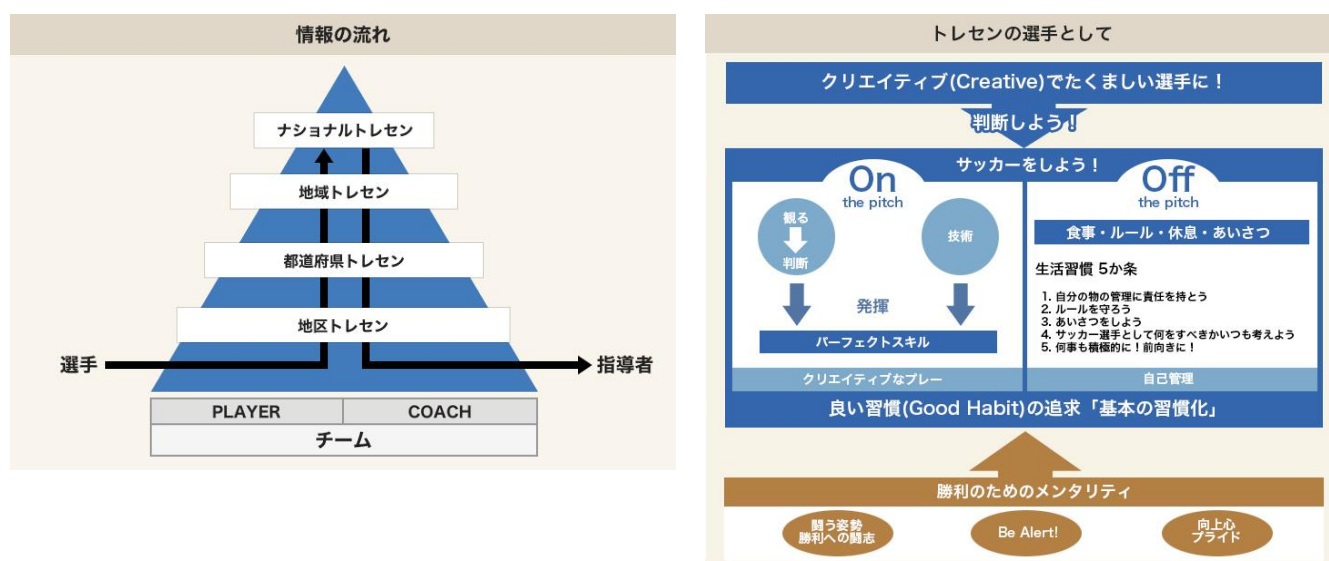


・ ナショナルトレセン概要

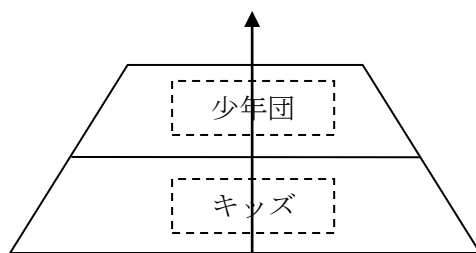
「トレセン制度」の中核を形成する「ナショナルトレセン」は、各地域から選抜された選手たちにより良いトレーニング環境を与える強化育成の場であるとともに、指導者のレベルアップの場でもあります。

1996 年度より情報発信・共有化の機能を高めるために大会形式から研修会形式に変更し、「世界」を基準に抽出された「日本サッカーの課題」から各年代に応じたテーマを設定し、その課題を克服するためのトレーニングやレクチャーを行っています。

また、各地域トレセン指導スタッフや、並行開催される指導者講習会に参加する指導者の方々へ、テーマ・トレーニングキーファクターを明確に示すことにより、各地域・各都道府県トレセンの選手たち、グラスルーツのチームの選手たちにも情報・知識が伝達されていきます。「ナショナルトレセン」を発信源として、強化・育成のベースが構築されているのです。

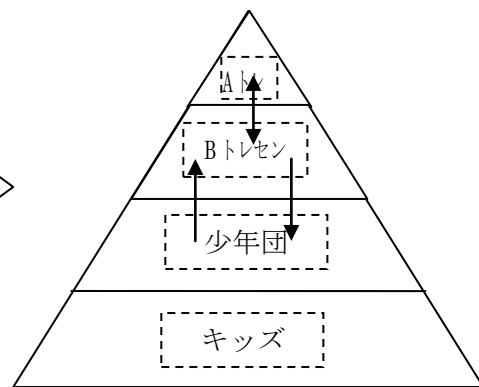
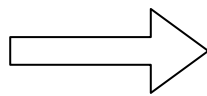


（公益財団法人日本サッカー協会ホームページより）



【図1】

札幌ではコンサやクラブチームがこの部分の環境づくりを担っているが旭川にはない。つまり、選手の力に合った課題でプレーできる環境がない。



【図2】

サッカー文化が旭川でも根付いてくるまで、札幌ではコンサやクラブチームが作っている環境をトレセンが作り出すことで、選手により良い環境を提供し、選手の成長をサポートする。

欧州やサッカー先進国では、各地域にプロクラブを頂点として、どんな選手も自分の力量に応じたチームに所属しプレーしています。毎年、選手はゲームに出る機会をつくるためにチームを移籍しています。選手もそれを当たり前と捉える文化がそこにあり、選手がよりよく成長する環境がそこにあるのです。

旭川では、上記のような環境はなく図1のような状況です。旭川トレセンは、図2のような環境を作り出すことで、選手の力量に応じた環境を作り出し、選手の成長をサポートしていきたいと考えています。選手に合った課題でトレーニングしたり、厳しいゲームを経験したりすることで今よりも選手が成長し、自分のチームに戻った時に活躍してほしいと願っています。

そのような活動を繰り返す中で、北海道を代表するような選手が出てきてほしいとも考えています。

2014 旭川地区サッカー協会U-12トレセン 活動計画

2014. 4. 2 技術委員会

1. 目 的

- (1) 選手の技術力向上のために切磋琢磨したり、競い合ったりすることができる練習や試合の環境設定
- (2) 旭川地区全体の技術的課題を把握し、解決していく場
- (3) 北海道トレセン、道北ブロックトレセンとの連携した取り組みを行う場
- (4) 旭川地区の指導者全体がレベルアップできるような取り組みを行う場
- (5) 各チームへの情報発信

2. 内 容

- (1) U-12, 11 トレセンの定期的な練習日とマッチの設定
- (2) 他地区との交流試合、各種トレセン大会への参加
- (3) 道北ブロックトレセン、北海道トレセン、ナショナルトレセン北海道等への選手派遣、視察、トレセンスタッフの指導者研修会への参加等
- (4) コンサドーレ旭川との交流
- (5) GKプロジェクトの開催
- (6) 旭川地区の課題等の情報発信（トレセン通信）

3. 期 日

- (1) U-12A・B, U-11A・B トレセン,
 - ①前期 4月～8月
 - ②後期 9月～3月
- (2) 他地区との交流試合、各種トレセン大会
 - ①道南ブロックトレセンマッチへの参加 (U-11A, 12A) : 5月17日(土)～18日(日) 室蘭
 - ②道北ブロックトレセンマッチへの参加 (U-11B, 12B) : 5月18日(土) 旭川忠和
 - ③道東ブロックトレセンマッチへの参加 (U-11A, 12A) : 7月20日(日)～21日(月) 北見
 - ④道北ブロックトレセンマッチへの参加 (U-11B, 12B) : 7月26日(土)～27日(金) 旭川忠和
 - ⑤北海道トレセンU-12 全道少年少女選抜大会: 8月5日(火)～7日(木) 帯広
 - ⑥U-11A 帯広遠征: 8月5日(火)～7日(木) 帯広
 - ⑦道北ブロックトレセンU-11・12 マッチ: 9月20日(土)～21日(日) 旭川忠和
 - ⑧U-11A 全道8人制フェスティバル: H26年1月31日(日)～2月1日(日) 空知
- (3) 道北ブロックトレセン、北海道トレセン、ナショナルトレセン北海道、指導者研修
 - ①ナショナルトレセンU-12 北海道前期: 4月18日(金)～20日(日) 札幌
 - ②道北ブロックトレセンU-12 キャンプ: 6月21日(土)～22日(日) 士別
 - ③北海道トレセンU-12 キャンプ: 8月29日(金)～8月31日(日) 空知
 - ④道北ブロックトレセンU-12 エリート: 9月13日(土)～15日(月) 札幌
 - ⑤ナショナルトレセンU-12 北海道後期: 10月3日(金)～6日(月) 札幌
 - ⑥ナショナルトレセンU-12 北海道伝達講習会: 10月4日(土)～5日(日)
 - ⑦北海道トレセンU-11 北北海道: 11月14日(金)～11月16日(日)
 - ⑧ナショナルトレセン伝達講習会: 11月15日(土) 網走
 - ⑨旭川地区サッカー協会主催 ナショナルトレセン伝達講習兼指導者講習会 12月7日(日) 屋内
 - ⑩道北ブロックトレセンU-12 エリート: 12月27日(土)～28日(日)

- (4) コンサドーレ旭川との交流
 - ①定期的なゲーム（月１回・花咲球技場）
 - ②コンサドーレスタッフによる指導（９月ごろ）
 - ③コンサドーレ U-13 への個人練習参加（希望者のみ）
- (5) GK プロジェクト：（日時は担当者より各チームへ連絡します）

4. 選 手 ・ 選 手 選 考

- (1) 選手
 - ①U-12A：25 名程度
 - ②U-12B：25 名程度
 - ③U-11A：25 名程度
 - ④U-11B：25 名程度
- (2) 選手選考
 - ①前期選考会：U-11 については別紙連絡
 - ②後期選考会：8 月下旬（詳細については後日別紙にて）

5. 指 導 者

- (1) U-12A
 - ①監督 水正 寛（鷹栖）
 - ②コーチ 菅野史彦（末広北）
 - ③GKコーチ 田中拓二（G B B）
 - ④テクニカルスタッフ 北川朋尚（ふらの）
- (2) U-12B
 - ①メインコーチ 松井芳樹（愛宕）
 - ②サブコーチ 津山 博（東光）
- (3) U-11A
 - ①監督 石前真司（上富良野）
 - ②コーチ 郡 健二郎（コスモス），岡 義章（ふらの）
 - ③GKコーチ 成田浩幸（愛宕）
 - ④テクニカルスタッフ 清水 駿（愛宕）
- (4) U-11B
 - ①メインコーチ 河井信義（コスモス）
 - ②コーチ 高橋卓広（A S T R O B O Y S）
- (5) GKプロジェクト：松井芳樹
- (6) その他
 - ①責任者～松井芳樹（北海道トレセンU-12スタッフ・愛宕）
 - ②女子トレセンとの連携～河井信義（コスモス）

6. 費 用

- (1) 活動費（選手１名あたり）：半期３，０００円（会場照明代，指導者交通費）
- (2) その他：合宿・遠征の実施や用具について必要な経費は，その都度選手から集めます。